

2012年3月26日

各 位

積 水 ハ ウ ス 株 式 会 社

「エコ・ファーストの約束」を更新

先進のスマートハウス「グリーンファースト ハイブリッド」の普及促進、
2030年までに新築戸建住宅でのCO₂差引ゼロ標準化 を明文化



積水ハウス株式会社（本社：大阪市北区、社長：阿部 俊則）は、環境省が創設した「エコ・ファースト制度※」において、2008年6月24日に「エコ・ファースト企業」として認定を受け、低炭素社会の実現や、生態系保全、資源循環等に対して積極的に取り組むことを環境大臣に約束し、着実にその歩を進めてまいりました。

2012年3月22日に細野豪志環境大臣に対して、2010年度の当該取り組み結果を報告するとともに、現状を踏まえて「エコ・ファーストの約束」の更新を申告いたしましたので、お知らせいたします。



※「エコ・ファースト制度」とは、業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に促進していくため、環境省が2008年からスタートさせた制度で、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度のことを指します。

細野環境大臣 と
当社代表取締役会長 兼 CEO 和田 勇

「エコ・ファーストの約束」更新のポイント

- ・東日本大震災により、住まいに対する世の中の意識が大きく変化。「安全・安心・健康」や「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」への関心が一気に高まったことを受け、制震構造システム「シーカス」や空気環境配慮仕様「エアキス」、断熱性や気密性に優れた高品質な住宅に太陽電池や燃料電池を搭載した環境配慮型住宅「グリーンファースト」、さらに蓄電池を加えた「グリーンファースト ハイブリッド」の普及により、家庭部門及び事業活動に伴うCO₂排出量削減や節電社会の実現を積極的に推進する。
- ・「グリーンファーストハイブリッド」は、HEMSにより3電池を連動制御する電力供給システムを備えた先進のスマートハウス。ピーク時間帯の系統電力（電力会社から供給される商用電力）の使用量を削減して節電社会に貢献するとともに、非常時にも電気のある安心の暮らしを実現する。各地のまちなみづくりにおいても積極的に導入し、スマートシティやスマートタウンの普及に取り組んでいく。
- ・2030年までに新築戸建住宅でのCO₂差引ゼロ（CO₂オフ住宅）の標準化を目指す。

※2010年度の取り組み結果は、「サステナビリティレポート2011」にて報告済みのため省略。

●本件に関するお問合せ先

積水ハウス株式会社 広報部

(大阪) TEL : 06-6440-3021 (東京) TEL : 03-5575-1740

エコ・ファーストの約束(更新書)

環境先進企業としての地球環境保全の取組み

平成24年3月22日

環境大臣 細野 豪志 殿

積水ハウス株式会社
代表取締役会長 兼 CEO

和田 勇

積水ハウス株式会社と積水ハウスグループ各社は、最も多くの住宅を供給する企業としての社会的責任を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、環境配慮を通じ積極的に社会に貢献するため、以下の取り組みを進めてまいります。

1. 家庭部門及び事業活動に伴うCO₂排出量削減を積極的に推進します

- ❖ 快適でエコな暮らしの提案と環境配慮型住宅の普及を通じて、特に遅れている家庭部門のCO₂排出量削減を進め、温暖化防止のための国民運動「チャレンジ25」に取り組みます。
- ❖ 省エネ+創エネで生活時のCO₂排出量を削減する環境配慮型住宅「グリーンファースト」とCO₂排出量差し引きほぼゼロとする「グリーンファースト プレミアム」の普及を図り、快適性と経済性、環境配慮を追求した生活を提案します。さらに蓄エネを加えたスマートハウス「グリーンファースト ハイブリッド」の普及を進め、電気自動車と連携するシステムの開発と普及に努めます。2030年までに新築戸建住宅でのCO₂差引ゼロ(CO₂オフ住宅)の標準化を目指します。
- ❖ 次世代省エネルギー仕様を上回る断熱性能と高効率給湯器を全ての新築戸建住宅の標準仕様とし、新たなライフスタイル提案によるLED照明の普及に努め、省エネ性能の向上を図ります。
- ❖ 周囲のまちなみに配慮した瓦型太陽光発電システムや断熱改修などを対象に自社独自の補助金制度で一部費用を当社が負担することにより、搭載及び実施を促進します。
- ❖ 家庭用燃料電池などの創エネ設備の導入を積極的に推進します。
- ❖ 賃貸住宅においても環境配慮と安定経営を両立する太陽光発電搭載の「シャーマゾン グリーンファースト」の普及を図ります。
- ❖ 累計200万戸以上の当社既築住宅及び他社建築物への太陽光発電システムや高効率給湯器の導入、断熱改修などの省エネルギーフォームを積極的に推進します。
- ❖ 「スマートハウス」や「スマートグリッド」などの研究と実証実験を進め、各地のまちなみづくりにおいても積極的に導入し、低炭素社会と次世代の住宅やまちづくりの実現を目指します。
- ❖ 「いえコロジー」セミナーなど、暮らし方による節電・省エネ生活普及教育活動を積極的に推進します。
- ❖ 生産工場やオフィス、物流などにおける事業活動からのCO₂排出量の削減について、(社)プレハブ建築協会をはじめとする住宅業界で定めた目標値を上回るよう積極的に推進し、節電社会の実現に貢献します。

2. 生態系ネットワークの復活を積極的に推進します

- ❖ 生物多様性の保全のため、鳥や蝶などが好む、それぞれの地域に根ざした日本古来の自生種・在来種を選定し植樹する「5本の樹」計画を住宅の庭づくりやまちづくりを通して積極的に推進します。エクステリア事業を強化し、年間100万本の植樹を継続目標とします。緑豊かな環境を維持するコミュニティづくりを支援します。
- ❖ 「木材調達ガイドライン」10の指針により違法伐採や自然生態系の喪失を防ぐとともに産出地域経済の自立にも配慮し、サプライヤーやNGOと協働して循環型の木材利用を積極的に推進します。
- ❖ 環境教育プログラム「Dr.フォレストからの手紙」や「いきもの調査」などの生物多様性についての啓発及び調査、評価活動を積極的に推進します。
- ❖ 「積水ハウスの森」をはじめとする森林保全活動に積極的に取り組みます。

3. 資源循環の取り組みを徹底的に推進します

- ❖ 生産・施工・アフターメンテナンス・リフォーム時のゼロエミッション(埋め立てゼロ、熱回収を伴わない焼却ゼロ)を継続するとともにマテリアルリサイクル率90%を目指します。
- ❖ リフォームに伴う解体工事のゼロエミッションを継続し、木造住宅の解体工事に伴う廃材のゼロエミッション化を積極的に推進します。
- ❖ 「ICタグ」や「電子 manifests」などを活用した次世代型ゼロエミッションシステムにより、トレーサビリティを強化し、廃棄物発生量のさらなる削減などゼロエミッションのレベルアップを図ります。
- ❖ 住宅を長く大切に使うための独自の保証延長システム「ユートラスシステム」を積極的に推進します。
- ❖ 住宅ストックの有効活用と住宅の長寿命化を目指す積水ハウスの再生住宅「エパループ」を積極的に推進し、第3の市場を開拓します。

積水ハウス株式会社は、上記取り組みの推進状況を確認するとともに、その結果について環境省への報告及びサステナビリティレポート(環境・CSRの報告書)による公表を行ってまいります。